

2012.8.1

12:00

(笑)空から出発!



フジーン
おーやが お見送りに来てくれた。

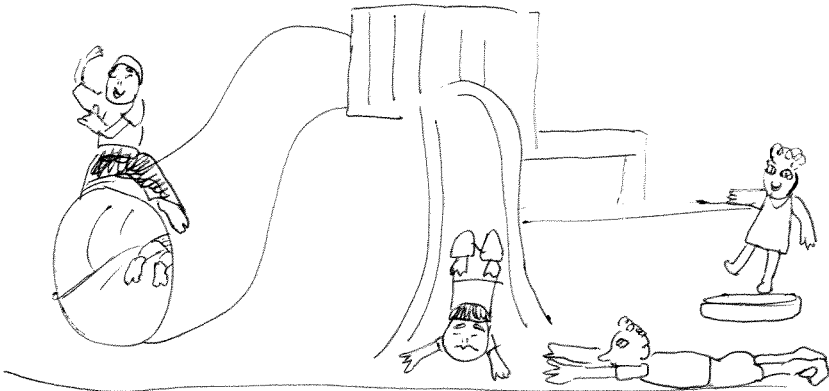


仁川 インチョン 空港着

7時間の乗り換え待ち...



14:30

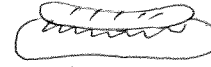


子どもの遊び場が助かった。他の子たちとも何となく遊べてた。よかった。地下には温泉もあるらしい。Wi-fiもつながるのにびっくり。何も知らないんだなあ。

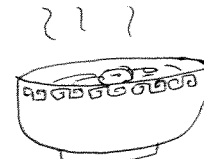
空港の食堂では



冷麺



ホットドック



ラーメン



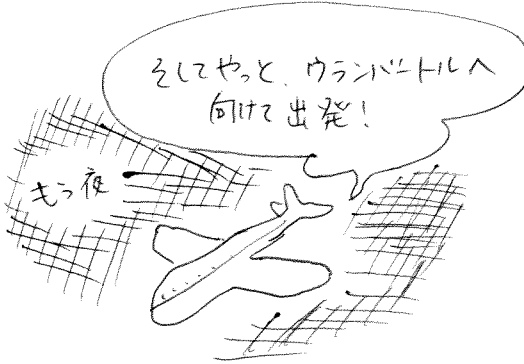
ビビンバ



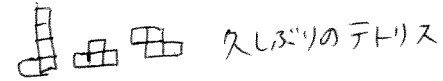
コップも
おはし、スプーンも
全部 ステルス?
軽くて使いやすい。

どれも量が多く頼みすぎた感。

全部で 30\$位。500ml ペットボトル水は 1,000ウォン



トキゾーは、飛行機内のゲームに夢中
タラは寝てしまった...



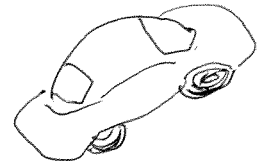
久しぶりのテトリス

URANBAATAR

ウランバートル

夜中の12:00頃

タラは寝入り、
トキゾーも眠たい
けど、がんばって
起きてくれた。
イモグレションなど
たくさん並んでたので寝てたら大変!
でも、子連れということで先に
通してくれた。



CITY TAXIと
いわれる黄色い車。
インドの客引きの
1/30くらい強引さで
すめられ、予約していた
ホテルへ。
25,000 Tg (トウグリク)

8/2

お金のこと

トウグリクに両替

200\$ ⇒ 248,600 Tg

1\$ = 1,243 Tg

100円 = 1,553 Tg

1,000 Tg = 65円くらい

500mlのミネラルウォーター 売店で 800 Tg

ウランハートルを散策

アイス1コ = 500 Tg (40円:安い!)

みかん2コ = 2,500 Tg (200円:高い?!)



帽子とサングラスとえり付シャツ

生ビール (500ml) 3,600 Tg = 235円?



ポテトフライもウマイ! トキコ喜んで食べる タラは昼寝してました...

ノンフィルターというのとフィルターというのがあり、3過ぎてるかしていないか?

私が飲んだのはノンフィルターという方。麦の味がして、この乾燥した暑さで

とてもおいしかった。しかも安い!



ツリストなどにも行って、歩き疲れT=3ラというこでトキコにもリンゴジュース 1,400 Tg

ここから、子供たちは「父ちゃんと母ちゃんがビールの飲む時はトキコタラにもジュースのみませる!」と言おうになってしまった...

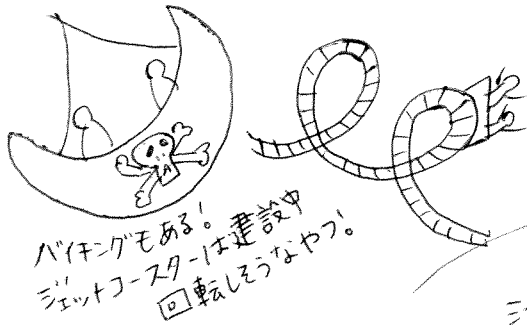
モンゴルの日は長い 日没19時~20時の間

それまでは昼間のように 明るい

なので夕方から遊園地へ! なんと23時まで毎日営業

入園料 大人のみ 600 Tg / 人 子供はタダ

乗り物 4,000~5,000 Tg / 人



バフキングもある! 建設中 シェットコースターは建設中 回転しそうなやつ!

3つ位のものにのって、子供たちはもとのりたがたが、夜7時すぎまでいたので帰った。

三也もあり。スワンボートもある。

この日の夕ごはんは、外国人向けのレストランで

ピザ 10,800 Tg
チャーハン 5,500 Tg

全然モンゴル料理 食べない...

本当はモンゴルの大衆食堂みたいな所に入りたいのだけど、キリル文字は

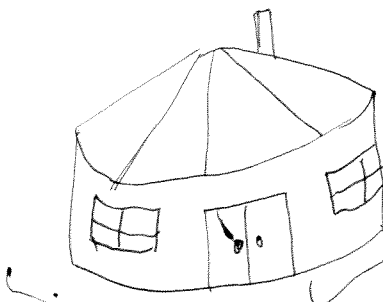
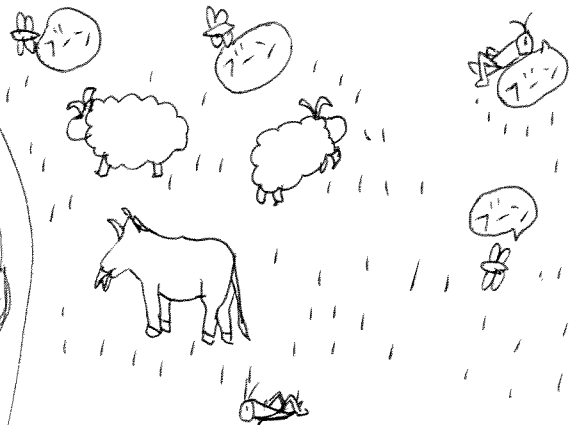
全然読めないし、道路はホコリっぽく、建設中、シテ空気も悪くて、探す気になれないという言い訳を言いつつ、チャーハンなど頼んでいる。



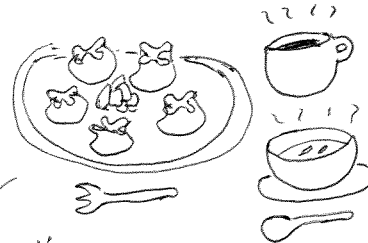
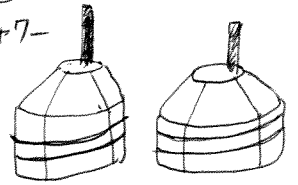
8.3 ~ ウンドールシレット



ウランバートルを出発して1時間も
走ると、草原になる
虫たちのブンブンという音がすごい!
トイレは青空の下



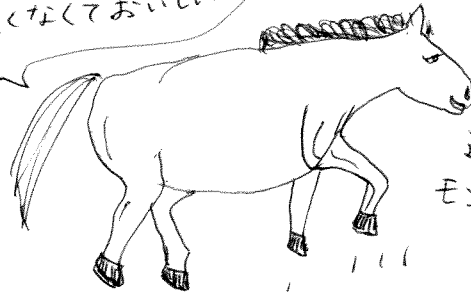
リバースайд キャンプ
食堂、ゲル、トイレ、シャワー
この往復だけで運動に
なりそう...



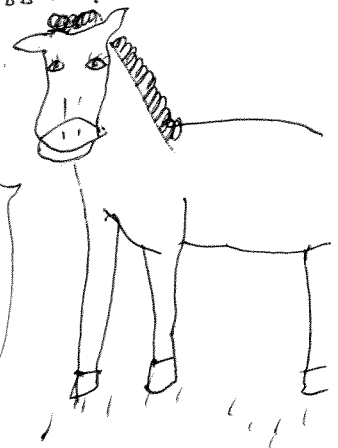
着いてすぐのお昼ごはんは
ホーズ! これがモンゴル名物
蒸しキョーザ的なもの。
羊肉だが臭くなくておいしい



このキャンプの日本人オナーの
小山久子さんの息子ナラン
ボオでいきなりトキタラと
遊んでくれた。お父さんは
遊牧モンゴル人だから、日本語も
モンゴル語も話せる!



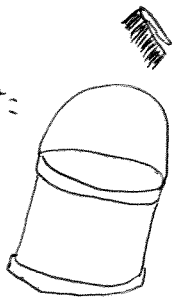
この時、ウランバートルから
水しか買って行かなかったの
だから、後になって甘いもの
(おかしとか)を買って行か
なかったことを大後悔する
ことになった...



ワーリストキャンプでの生活

まず洗濯👕

ウランバートルではホテルの室内に干していたので、なかなか乾かなかたけれど、ここではケルの外に干すので半日でカラカラに乾く！ので毎日気持ちよく洗濯。子供たちも足ふみで手伝ってくれる。

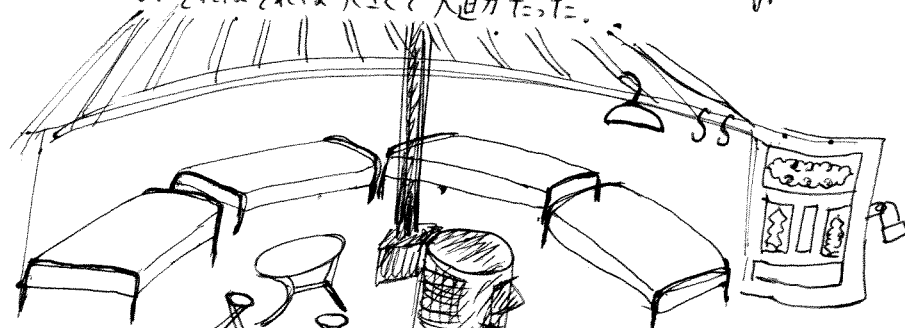


日本から持ってきた持ち手付ハートックブラシと折りたたみバケツが大活躍！

ここでは毎晩“秘密の星を見る会”

でも、私たちが着いた日は満月でしばらくはあまり星は見えなかった。

だけど、大草原で見る丸いお月さまも、それはそれは大きくて大迫力だった。



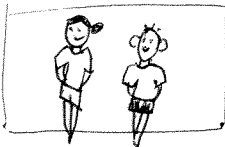
一応、南金錠もかけておく。

テーブルと薪ストーブ

ベッドがあって、そこで寝る。布団と毛布をかければ充分暖かい。雨が降ると冷える日はストーブに火をつける。

日本では20:00就寝の子供たちも、ここではなかなか日が暮れないので21:00就寝になることに。朝も7:00くらいに起きるので睡眠時間は変わらず。

ウエイレス

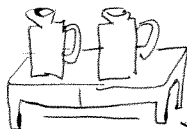


ヒジギちゃんとボクズちゃん若い子はみなスタイルが良い。

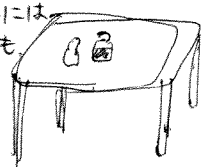
日本語の本が並ぶ



テーブルにはしょうゆも



ポットに紅茶とお湯。毎日これを飲んでいた。ウレシガソリンくさかった。



ナランモテングロンハットを取ると、ぼうず頭だった！トナリの見ちゃんみたい！3人は毎日いっしょに遊んだ。



穴を掘ったり、棒を拾って戦いっこ。折り紙で「しゅりけん」を作って忍者ごっこ。草原を走り回るだけとか、単純な遊びばかりだったけど、飽きもせず毎日楽しそうだった。そういう子供たちの姿を見るのは、涙が出るくらいうれしいものだった。

食堂もケルみたいな円形、たためるんだらうか。

8時 朝食
13時 昼食
19時 夕食

毎日規則正しい食事
間食もなし



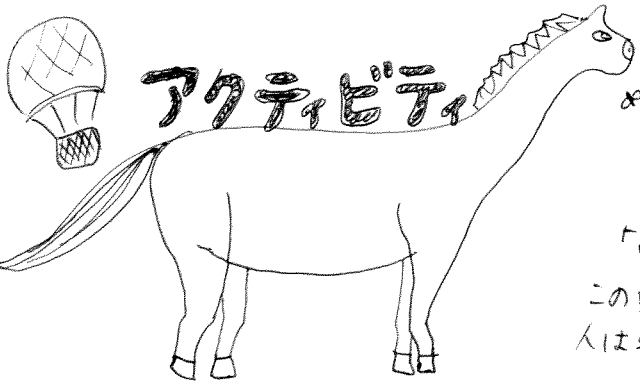
←この時に出るちょっと甘い物
それだけがお楽しみ。

毎食事もとても楽しみにしていたけど。

子どもたちが遊んでいる間、父さんと母さんは昼寝と読書ゆるりさせてもらいました。



うす目をあけて寝る創



アクティビティ

虫が馬の顔の周りを
 飛ぶので、晴れている
 虫の多い日は、馬たちは
 始終顔を上下に振っている。
 「ウンウン」うなずいているみたい。
 この虫たちは人間にもまとわりつく。
 人は手で「ムウカ」たまらん。

乗馬

1回 20\$ / 人
 3才の馬は無料
 でも大人と乗る。



馬のテテがあの
 ようなヘアスタイル
 のお兄ちゃんとか
 遊牧民のおじちゃんに
 一緒に乗ってもらい、夕子さんは
 通訳?で一緒にしてました。
 4人に3人のガイド。大変だと思う。



おじちゃん
 トルグエンと言う。
 「ちよとまて」と「あーそうぞう」
 という日本語のみしゃべれる。
 木んは「トラさん」というモンゴル名を
 つけてもらった。

トキとタラは
 おじちゃんとお兄ちゃん
 一緒に乗る。
 6才くらいじゃないと、
 足があげずに乗れない
 危いらしい。



てっぼう



10発ずつ
 大人2人で50\$ (子供はできない)

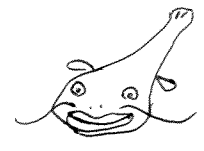
ねずみのタルバガンを撃つ銃を使って、ボールの缶を的撃ちする。
 土の上にねずみ、肩に銃の後ろをしっかりと固定して
 ねらいを定め発射!



なかなか缶が倒れず、当たらないや〜と思っていた。
 一緒に来てくれた馬タゲがミハア君 (他の日本人には
 「おいかりや!」と呼ばれていた) が、「もう少し上をねらって」
 とか「今のタゲは左にズレてたね」とか言うので、さすがモンゴル人は
 目がいいなあ〜と思っていたら、実は近づいてみると缶にいくつも
 穴があいていた! ということはおちゃんと当たっていたのだ! 倒れなかつた
 だけ。テキトーなタゲがミハア君。

お魚
 1\$ 10\$

魚釣り



一緒に釣ってくれた
 イデル (17才)
 話せる日本語は
 「ちよとまて」と「信じて下さい!」



ナマズが釣れてしまった。
 イサはミミズかバタバタをその辺の
 草むらでつかまえてつける。

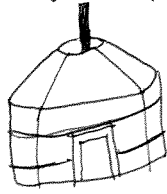
この辺はウランバートルからの川の下流
 らしく、排水の規制がないため、だいぶ
 汚染されているそう。残念ながら釣っても
 食べられない...

お魚

ホームステイ

1泊3食付 125千/4人
キャンポ代はかからず!

小山久子さん曰く、
「どのアクティビティより
ホームステイが一番面白い」
ほんとにそう思う。



こんな家族の家におたまり

ガンバ 30才	アルタ 29才	ウル 9才	アルカ 8才

はじめ、家に行くと、父母のガンバとアルタは
おらず、子どもたちだけがいた。



姉のウル、
妹 アルカ
姪? いとこ?
サンサルちゃんとバットチムカちゃん
(1才くらい) (3才くらい)
みんな女の子。あと、赤ちゃん(数か月)
もいたなあ。

そのうち、おじいちゃんとおばあちゃんが現れ、
スーテツパイとパンとウルムを出してくれた。



この時、父母は
放牧していた羊が
他の家の羊と混ざっ
てしまい、仕分けに
行っていたのだそう。
そういうこと、やっぱり
あるのだなあ。

カパにはじつはじんをはり、
暖かけろ。

中国製
洗濯機

中国製
冷蔵庫

たんす、
布団など入っている。

食器棚
食器は数枚しか
ない。よく洗って
使います。
調味料も少ない
塩としょうゆ位?

薄型テレビ

写真

ベッド
調理台になる。

プラスチックのイス
乳いぼの時に
使う。

みんなでお食べる机

中国製
冷凍庫

中国製
洗濯機

中国製
冷蔵庫

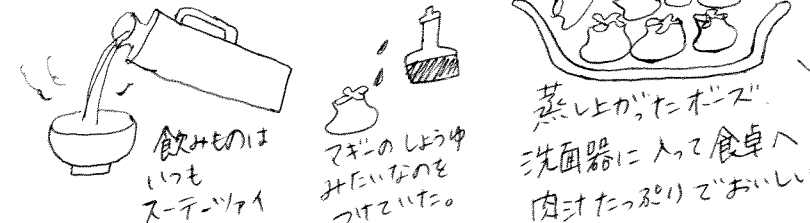
たんす、
布団など入っている。

母アルタは
糸に糸
かたない

パン
キャンポも
あった。

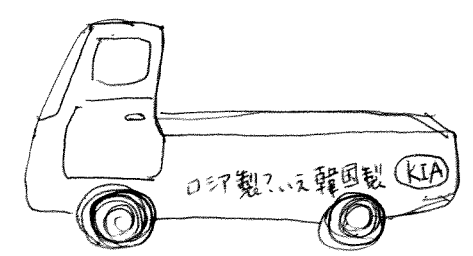
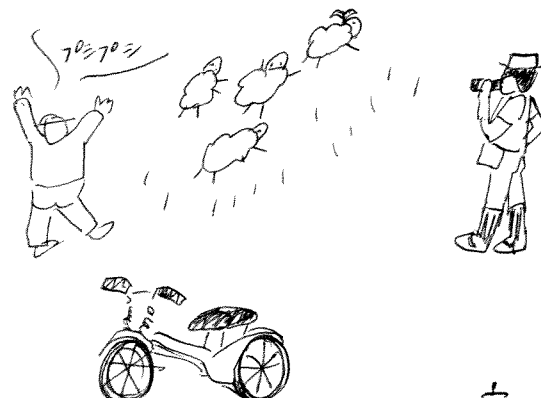
この10畳くらいのゲルに家財道具がけこうたくさんでびびりした。
テレビや冷凍庫、洗濯機なんて電化製品もある。ゲルの外に
ソーラーパネルがあり、動くのは分かるけど、洗たくなんて、水道ない
のにどうなってるんだらう? 川の水を汲んでくるのか?

お昼ごはんは「ホース」を作る。
14時くらいに作り出して食べたのは、
15~16時くらいだったのでは。
夜からアルタが作り、お肉もかたまりを
きざみ包むのだけ手伝った。肉まんが1
で551の店員さんになったみたい。



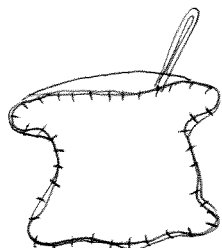
←石牛親指は重かきず
にワイワイ...と包む
アルタは1才1割くらい
で包める。私は1分くらい

お昼ごはんを用意する間、ガンバと創くんは羊の放牧へ。 — Made in German



ホームステイ つづき

男たちが放牧に行っている最中、私は子どもたちと隣の家へ



馬乳酒(アイラグという)

←こんな革の袋みたいなものに入れて作る。
これは牛の胃袋で、馬の乳を入れて3~4日かき混ぜる。

すると、アルコール2~3%の発酵飲料ができて上がる。味はヨーグルトドリンク。

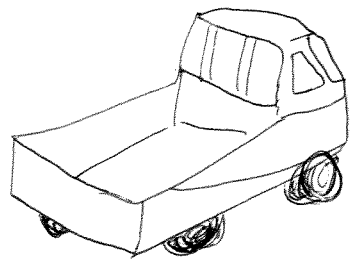
のみ過ぎるとお腹をこわすらしい。が、ドンブリー一杯をまず、ごちそうされ、「どうぞどうぞ」とおかわりが注がれる。

でも、モンゴル人は夏になるとこの馬乳酒を大量にのみ、お腹をわざとこわして、冬の間溜まった老廃物をシャーと出らしい。



本当にドンブリーにナミナミと、最後まで飲んでしまうと、その年に子羊がうまれなくなると言われているので少しお気を付け。

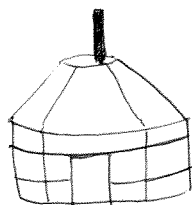
いらなくなったら、木の土にドンブリーを置く。でも、しばらくすると、「ガッ、アイラグ」と言って再びふるまってくる。



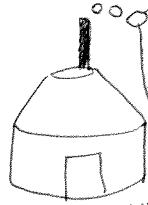
このあと、続々とガンバ宅に

親せき? が集まり出す。みんな車で、馬では来ないのかな。

ガンバのおじいさんもやって来た。  こんなバツをはいている。



居住用ゲル



キッチン用ゲル

ガンバ家は2ゲルタイプ

夏は暑いので料理はこちでする



子どもにはアムちゃん 乾いたパン 乾いたチーズなど...

Batkhuyagのお母さん ぼうず頭だが優しい。



この頃、倉くんとかんばは他のお家でウオッカを何杯も呑まされていてさうな。モンゴルのウオッカは一気のみで、何杯も。そしてバイクに乗って帰ってきた。

となりといっても草原を

歩いて20分くらい。Batkhuyagさんの家

子どもたちは平気で歩く。



Batkhuyagさんはぼうず頭だが、お花を見つけるとしゃがみ込み、何事かうれしそうにしゃべる。おそろい子である。



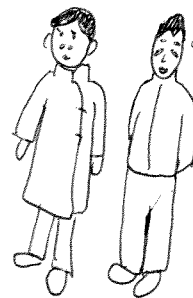
Batkhuyagさん家に着くと、

本当に急なのに、しかも外国人なのに、

普通に迎え入れてくれ、馬乳酒を当たり前のようにごちそうしてくれた。


モンゴル人はお客さんに慣れていると聞いてたけど、本当なのだなあ。

しかも、私が行った時、すでに先客が来ていたが、この人たちも何も驚くことなく迎えてくれた。

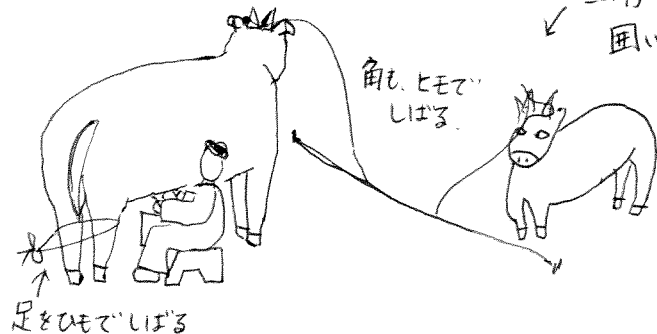


かわいい...と思いつつも、これが今晚のごはんかと期待がふくらむ

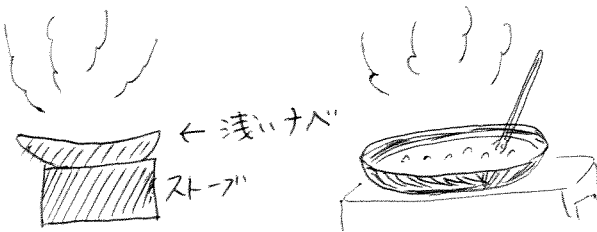
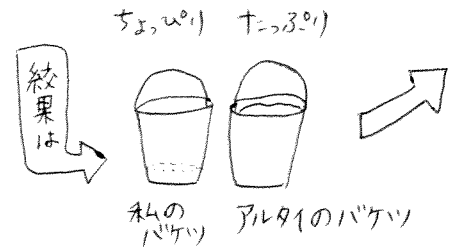
そのうちの1台に羊がつかわれて乗っていた。

私たちを見るとおびえた目  ←こんな目で逃げようとする。おしこも荷台にする。

夕暮れ時、牛の乳絞り
これは女の仕事なのか？
ガンバは牛をヒモにつなぐだけ
絞るのはアルタイだった。
お手伝いも創くんでなく私だけ。

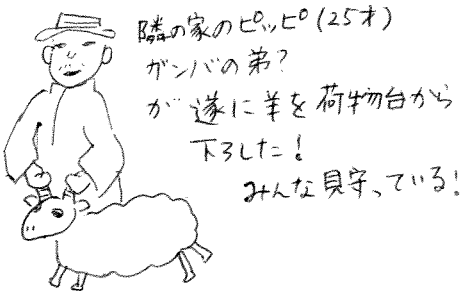
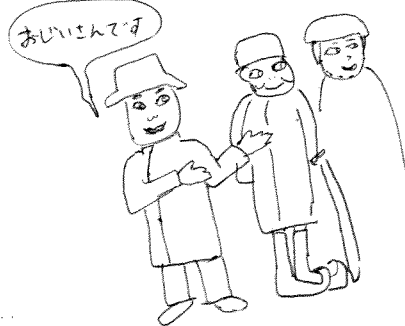
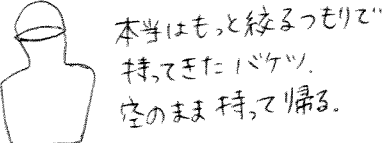


この仔牛は今しおられている母牛の子ども。
囲いから出されて、5分位お乳のんだ後、この子もしばられ、
人間が乳絞りする。15~20分くらい絞ったら、この母子の
ヒモは解かれ、晴れてゆくり乳のみできる。
でも、あんまりゆくりしていると、「早く草食ベに行け!」と
お尻を蹴られるのである。
そして、母牛はどこかへ草を食みに行く。帰ってくるのから...

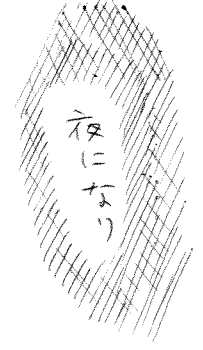


絞った乳をナベに入れ、沸とうさせる。
すると上澄みが出てくるので、すくい取る。
これがウルムというバター。あざしいて
おいしい。その後でチーズとかミルクティとか
作るのだろうと思う。

あんまり私の絞り方がへたなので
しばられている牛は、前後しばられて
身動きとれないにもかかわらず、
横身で体当りしてきた。痛かったのだらう。コメンネ。



星の夜...
晩ごはんは何もなにもまま、
主人のガンバもどこかへ行ってしま...
私たちは寝ることに。
倉川は床に布団敷いてみた
上に寝た。でも、その辺は
夜になるとカエルか
何匹も入ってくる
だった。



今日の晩ごはんは...
と少し気になる。



かい!

ピレピロ、羊を逃がしてしまう...



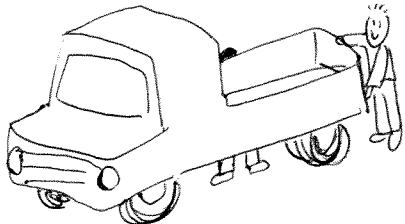
子どもたちのあそび

ウンザルシレットのお友達



← まだ歩き出したばかり。

ホームステイ中、子どもたちは、ナランがいたこともあり仲良く遊んでいたように思う。言葉が通じるかどうかはそんなに重要でないかも。



家の裏のトラックの荷台で全員上から遊んだり、車に隠れたり。

木も木切はあそび仲間来たたり、車もがたり

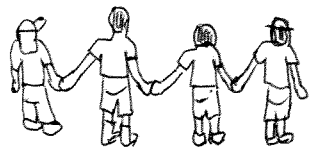
↑
3つりの姉妹
アルカの方が横に広い？
2人とも美人です。

↑
バットムカと田舎されている。



♪ この年のくさり
やぶらてみーやー

トキツウ!



♪ だれがいくのー?



やっぱり草原で走り回るのか
いちばんだ!



折り紙もよく登場した。モンゴルの草原では紙は貴重らしく、ナランは「いつかリザリストが落とした紙を拾ってヒコキとか作ってるんだ」と言った。

アルカとウレにしゅりけんの折り紙を教えたなら、一生懸命折っていた。



親せきのおばちゃんか"持ってきたスコーライトとチココパイ みんなにちゃんと平等に配らてくれた。一人占めっていうことを知らないみたい。

飲みものはいつドングリ



サンサルちゃんか"ゲルの玄奘の前でウチした。それを見た長サウレは何も言わず"ちりどいで"取って帰っていた。

疲れの尻にしておいて、まるでお母さん。そういう大人は日中誰も子どもの面倒みてない。子どもだけで遊んで"いる。



しゃが"あ

羊の後足のくるぶしの骨 4つぶらて占いたり、

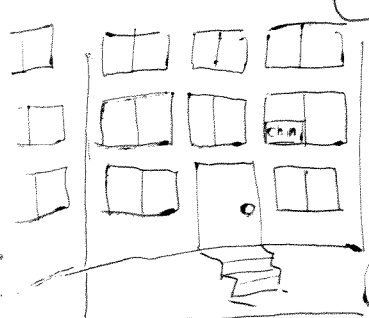
立った数だけ進めるすごくみたくなのしたり、色々あそべる。

羊を食べた後、その骨をとってみく食べた後の骨には肉は全と残っていないつるつるヒコヒコカ

♪ あの子か"ほしい、あの子じゃわからん相談しよう、そうしよう♪」みたいに歌いながら遊ぶ指名された子は全サで走って、どこの年のくさりを切る! 切れたら、切れた子どちらかを連れて元のチームに戻る。切れなかつたら、そちらのチームに入る。最後の1人になったら負け。ということは、このゲームはいつも1人で負けるのです。少しかわいそう。でもモンゴルの子は負けてもそんなに寂しくならないんだらうなあ。またすぐ他の遊びは始める。

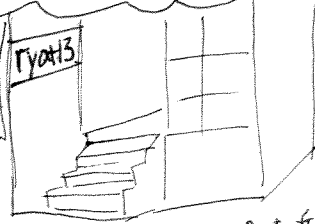
8.11 ~ 再びウランバートル

心なしか空もかすんでいるような



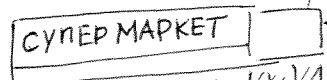
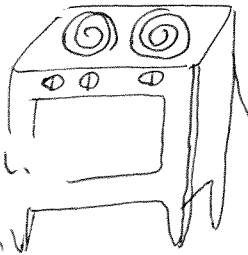
チンギスゲストハウス
マンションの2Fの1室
自分では絶対分かん...

TAXIの運転手さんが
ゲストハウスに電話して聞いてくれた。やさしい。

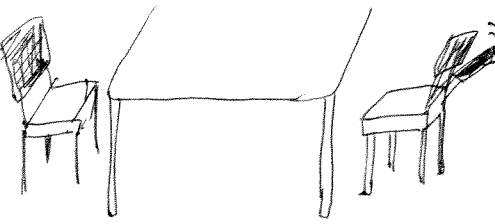
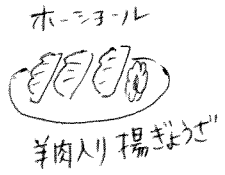
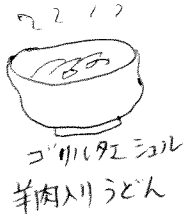


階段が多い

スーパーも近くにあるし、
キッチンも使えるし、
自炊できる。ただ、
ガスではなく電気ガスなので、
炊き口なので、火を使うのは
時間がかかる...



ウランバートルの建物はガラス張りが多い
が、そのガラスが反射ガラス? で、外側からは黒くて中が
全く見えな。そして埃とか土とかで汚れているので、
一見空店舗の風情である。が、入ってみるとキレイな
店内で品揃えもなかなかよい。



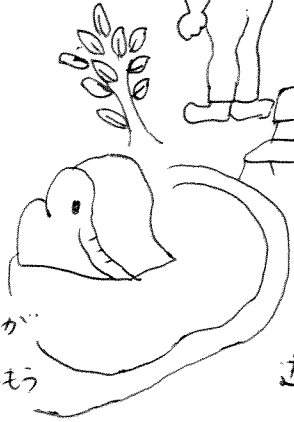
イスの背もたれが
こわれている確率 $\frac{3}{4}$
体格のいい人が
多いからなあと納得

モンゴル人男性
短髪が多い
長髪は見ない

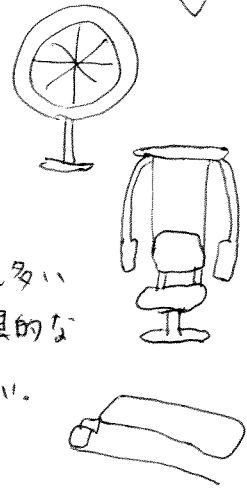


2度目のウランバートルで、ちとモンゴル人が
行けそうな食堂に入るとなり
"traditional mongolian fast food" という
一見予盾する看板のお店に入った。

どれも羊の料理のよう。この時、私は鼻づまりが
ひどくそれ程でもなかったけど、倉くんは「羊はもう
カンペンしてくれ」状態だった。私の鼻づまりも
解消するにつれて、OKになっていた。



公園も多い
健康器具的な
遊具が多い。



○ モンゴルは
丸い穴2つが主流

ただ、ウランバートルの都会的
雰囲気にも慣れてきて、モンゴル人の
親切さに安心して来た頃、
後ろからしつこく寄る黒い影

ワラワラした人たちが5人くらい
溜まってきた。



そう思いながらも
トキタラの遊ぶ姿を
ロシアロシア写真に撮って
いたら、背負っていたリュック
を開けられるように!
いっしょと振り返るとワラワラ奴!
「フリー」と言って逃げたことに
何もとられなかったけど
ドクドクしました。
油断禁物!

↑
フランスではよく
足先前後させるやつ



UB 買い物

バナナ 2本
800Tg = 56円くらい?
悪くはないけどから
安い。半額くらい

みかん 1kg
2,500Tg
おいしい!
りんご 2コ
1,600Tg

野菜の種類は少ない。いつもあるのは...

ニンジン 細い
じゃが芋
玉ねぎ
キャベツ 小さい

日本のものより全体に小さい。
中国とか韓国からの輸入が多い

しょうゆ 1,200Tg
マヨネーズ 450g

パン 300g
600Tg
アイス 500g
3,000Tg

ビール 500ml
1,200Tg
冷凍ポテト 2,700Tg

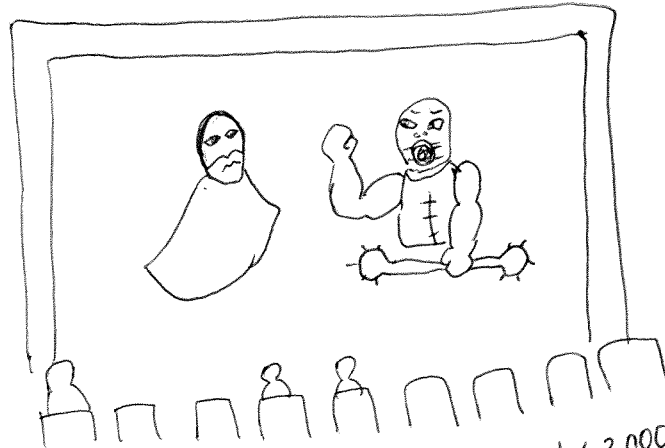
菓子パン 1コ
100Tg
ジュース 400Tg

パズルの本 3才用とか5才用とかある

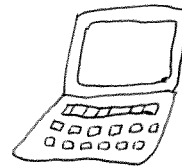
3歳 HACT TEST
5歳 HACT TEST
モンゴル語
だけと
図形だから
わかる。

1冊 7,000Tg

7,000円
と思っ
ておいたもの



映画「バットマン」を観た。大人 7,000Tg 小人 3,000Tg
「シネコン」で「ポップコーン」劇場など日本の TOHO CINEMAS
と全く一緒! アメリカ的なのかな。
日曜日昼間だからだけ! 人はまばら。こちらも映画館
はなれが「進んでいる」?
子ども達は「バットマン」の話が「したい」分かったみたい。
ナイト上映は 23:00~とか、遅いなあ。



Wifi

ホテルやゲストハウスは
使えない。
カフェとかで「と思うけど」
子どもたちもいるからなかなか

ゆっくりはできないし、ちゃんとなが
カフェも少ないと思う。

皆々月食? 昼間に
爪の先ほどのお月さまが見えた。
街ではみんな上を向いていた。



たまには KOREAN



たまには 羊肉以外も食べた
ということ。韓国料理。たくさんお店がある。
韓国からの旅行者たしかに多い。
ソウルから3時間くらいだな。



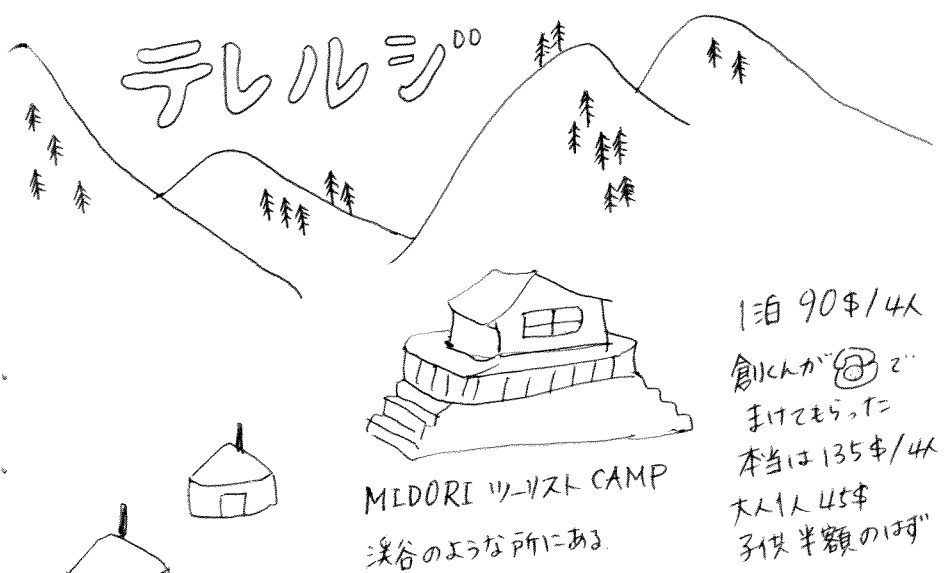
蝶からラクダ、大おし、ライオン、魚
あらゆる「生」生物が「はく製」になっていた!
迫力がある子供たちも楽しく
見ていた。

立派な建物 子ども芸術センターという

中には子どもの描いた
絵や、彫刻など「展示」
子どもの銅像も。
本格的な芸術作品
だった。

モンゴルの
平均月収は20万円と
日本の円で「20万円」とすると、
↑アムダハナで3,000円!
×4高い!!
パンとかジュースは
そんなもんかと思うが!!
ツアー料金なのかな?
UB市の人たちの月収が
遊牧民と差が「ありすぎて」
平均に出るのか...

テレルシ^{DD}

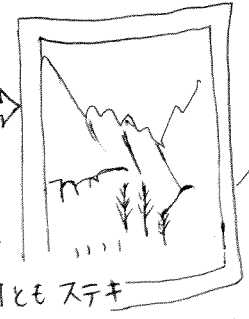


MIDORI ツーリスト CAMP
渓谷のような所にある。

1泊 90\$ / 4人
食料が @ で
つけてもらった
本当は 135\$ / 4人
大人 1人 45\$
子供 半額 の 1泊

モンゴルで有名な保養地? 観光地らしい。が行った時はすでにシーズンオフなのか、他のツーリストたちはまぼらだた。
このテレルシに行く前、"Avarga toson"というアヒーに良いと言われる湖に行きか迷っていた。地球の歩き方にはのっていない! 遊牧民のおじいさんに教えてもらった所で、とても魅力的だったのだが、UB市から 230km と遠いこと (モンゴル人からすれば) この他の距離はとて近いう) と 1週間の滞在で 4人で 10万円位 行くことにためらい、UB市から 50km 程の軽なテレルシを選んだ。でも、やはり気になるので、今度モンゴルに "Avarga toson" に行くためにだけでも来みたい。モンゴルには 塩湖 がたくさんあって、アヒーに良いという所も ニンジキではないよだか!

絵では
どうにも表せ
ないが、
ケルの中から
見た風景が
岩山と空で、何ともステキ
もろろ人 草原も。



2,200m の山



空が青い
雲と同じ高さ

宿の近くは山だらけ
トキゾは「おとこに泊りたい!」
という。なんで? と聞くと
「だって山があるから」だって。登山家~。
けこうな傾斜がある山も手を使って自分で
登る。宿が 1,600m の標高にあるから、600m 位
のぼったことになる。この斜面は大人でも厳しく、
富士山よりしんどいなと思った位だから、トキゾも相当
しんどからたろう。頂上に着いた時の感慨といったら 海
のように広がる草原の景色と、トキゾの想像を超える 頑張りとで
もう忘れられないだろう。タラは、ほとんどおぼろで行った。兵児帯の
つりで"さらし"持って来たけど、こんな所で役に立つとは。

山の高い所に
青ネギが!
誰か植えたのかしら...

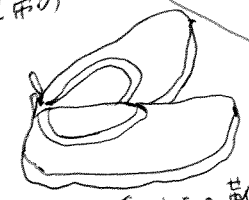


何度も登るうち、タラも
だんだん自分で、いける
距離が 及んできた。

かわいい
草花も 牛ふんも。
家畜も 2人にならまで
来るのだな。



MIDORI CAMP
が約 4km
トキもタラも
全部歩いた!



来たらの靴 MERREL の
ジヤングルモックはすばらしい!
スリッポンで、すぐはけるし、底が厚く疲れない!

人と生活・体調

テレビのMIDORI campで
会った人たち

campのStaffたち
モンゴル語しか通じない

お母さん (33才)



モッチ (35才)



リッスン (7才)



お腹は
赤ちゃんか
冷やさない
ようにしてた



トミ



ウチサカちゃん

モンゴルには
この位の耳の子が
1人が遠くの街で
ぼろぼろ泣いてる
かある

↑
この2人も働いてる
はずだけど、途中で
いなくなった...

←重たから先付けた
本当の別は知らない
たぶん身体中のバイト?



テキキ君 (8才)



ガンシュー
バスクン
日本で会社を
やっている若者



ミスター・ムンダさん
この宿のオーナー

親子

親せき

きとエートな
家系なのだろう
みな目が好む。
モンゴル人に知り会って
近くにいる親せきを
全員紹介してくれる。



スホロリ
オソリチ
モンゴルの政治家

名刺にこう
書いてあった!



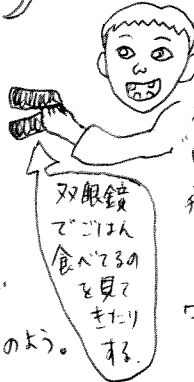
トシは山登りと
紐ヒョーキの
オソリチ



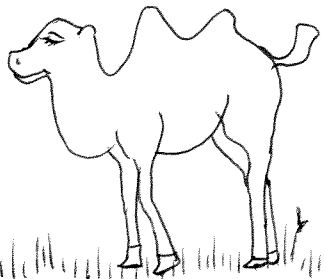
トシは
オソリチ

歯むげのリッスン

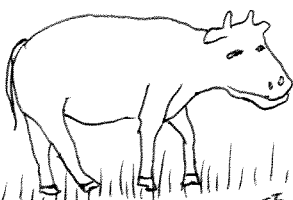
言葉が通じないながらも
初日から単行こししたり、
"UND" したり、紙ヒョーキ
飛ばし合ったりしてたり。
リッスンと話すと、
トキリは巻き舌になる。
「オーエス」と言ったりもする。



双眼鏡
でゴキ
食べると
見えて
きたり
する。



ラクダも集団 (5~6頭) で
草を食べに来る。



ウシは毎日 20頭くらいで
キャンプ場に入ってくる。日課のよう。

倉くんは何度かしんどくて、1日中
寝袋にくるまってじっとしていた。すぐ治った。



ウー

トキリにも何回か 38°C くらいの熱を出した。
その内、1回「耳がいた」と言った時があった。
遊牧民は、「虫が入っているんじゃないか?」と心配
してくれてけど、耳をじしたら、ふさがりそうな程の
耳くそが取れ、治ったようです。中耳炎になりかけていた?
もし、虫が入っていたら、耳の中に水をたらすらしい。
むしろどんなにみせねん...

ウーのアトピー



モンゴルの乾燥で一気に悪化かと思っていたが、
どちらかといえば良くなった。特に草原ではみるみる
発疹が治っていくような気がした。
ウインドブレークのナランも、日本に帰ると発疹が出るらしく、
やはり草原のきれいな空気の方がアトピーに良いのかも。
それでも何人ものモンゴル人がアトピーに交かという
塩湖を教えてくれたので見た目はかゆそうなのだろう。
日本にいるときよりかゆさも大分やわらいだ様だが、
とてもしっかりの薬を持ってきたが、ほとんど使わず、保湿の
クリームやゲルクリームを塗るのみ。顔はツルリんとしてきた

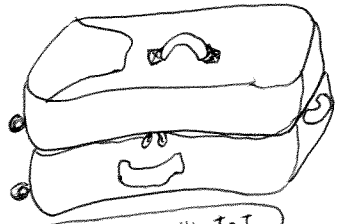
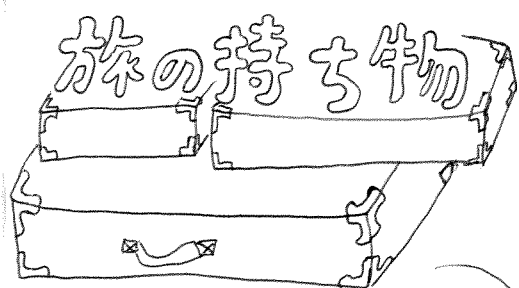


司馬遼太郎の『街道を行く⑤ モンゴル』
この本をモンゴルで読めてよかった。30年前に
書かれた本だが、おそらく今の遊牧民の生活と
ほとんど変わらない。モンゴルの歴史も詳しく知ることができた
ので、子供たちが遊んでいる間、夢中になって読んだ。

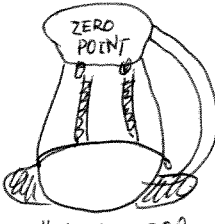


パソコンで夜な夜な英語の勉強したりも
した。倉くんはさらに、毎日560例文を音読
するという信じられない事もしている。

旅の持ち物



持っていたカバンは5
Burtonの巨大カバン
コロコロがついていて引いて歩ける。



バックパック 70L
↑
借りもの



デバック 2つ
40Lと30L位?
手荷物を入れていた。



ウエストポーチ
モンゴルの場合は
使わず。
貴重品はゲルに置いて
出た。



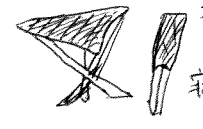
南金錠 2つ
&
ワイヤロック 2つ



タヤル式
外で使ったり

パスポート
4つあるの?
なかなか持ち歩けない...

車カバン
今回は
トカマツ
カバンは持たず



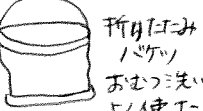
折りたたみイス
トカマツが寝た時や
寝た時に大か座る。



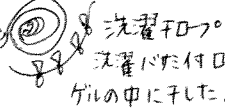
水筒 4つ 移動の時

手ぬぐい 6~7枚
かきまわす すぐに乾かし
重宝した。

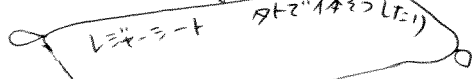
ハンカチ
4枚
手ぬぐいで
足りた。



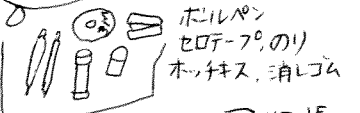
折りたたみ
バケツ
おむつ洗い等
よく使った。
←こうなる



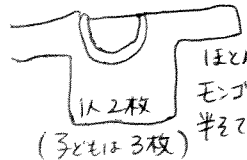
洗濯用
洗濯バサミ付ロープ
ゲルの中に干した。
ハンカチもあるとよかた。



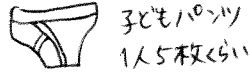
レジャーシート



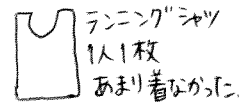
ホテルパン
セロフ-7のり
ホック針ス、消ゴム



薄手の長ズデ Tシャツ
ほとんど毎日これ
モンゴルの日差しが強いので
半ズデはあまり着なかった。



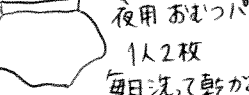
子どもパンツ
1人5枚くらい



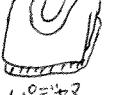
ランニングシャツ
1人1枚
あまり着なかった。



薄手の長ズボン
子供は別にレインパンツも
でもこの2本で足りた。



夜用おむつパンツ (子ども用)
1人2枚
毎日洗って乾かす。大変だった...



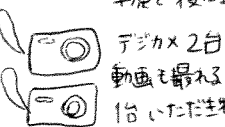
1.0リヤマ
長ズデ長ズボン
1人1セット



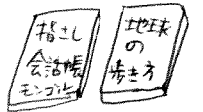
つば付
帽子



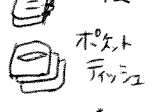
保湿クリーム
薬類 厳選して
たくさん



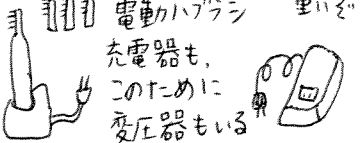
双眼鏡
草原で役に立つ



地球の歩き方



地球の歩き方



電動ハブブラシ
充電器も、
このために
変圧器もいる

ふろしきに包んでいったけど、整理バッグの方が出し入れやすい

5本指ソックスも
私ののはなくしては...

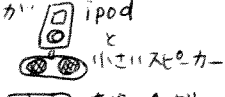


サングラス 4つ

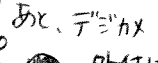


ノートパソコン
wifi使える所
でHPも更新早いか!
草原ではモバイル
英語の勉強用!

iphone wifi
skypeなどできる。



ipod
と
小さいスピーカー
変換プラグ



あと、デジカメからの
写真整理

外付けハードディスク 1テラ = 1000GB 余裕で入る!
写真保存の他、ミニに映画を入れてきて
草原の雨の日などにゲルで観た。"ガイランゴネ"



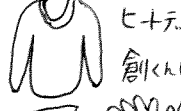
一心ファン用の
お皿、おはし 4セット
使わなかった... 重かった...



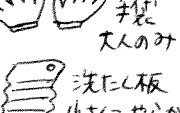
ウルトラライトダウン
小さくなるが良い
でも、これだけでは
本当に寒い時は足りない



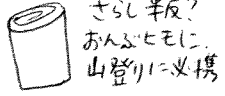
フード付防水ポンパ
子供はGapのセールで
買った。ダクと重ねて最暖



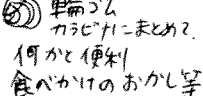
ヒソテウ上下
創くんはよく着ていた。



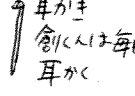
手袋
大人のみ



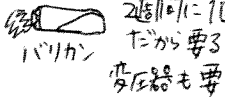
せし半反?
おんぶせもに
山登りに必携



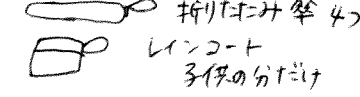
輪ゴム
カラビナにまとめ、
何かと便利
食べかけのおかし等



耳かき
創くんは毎日
耳かき



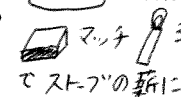
2週間1回
だから要す。
変圧器も要



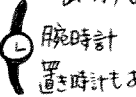
折りたたみ傘 4つ
レインコート
子供の分だけ



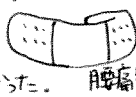
エコバッグ
お風呂に行く時とか
お買物とか色々。



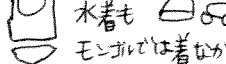
蚊取りせん香
マッチ
3つそろく
でストーブの薪に火つけるのに!



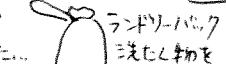
腕時計
置き時計もあるよかったです。



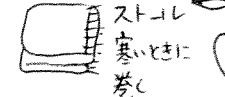
登山のあと
使った
トホ...



水着も
モンゴルの場合は着なかった...



ランナーバック
洗った物を
持ち移動する時に



ストール
寒いときに
巻く

書いてみる結構
少ないんだけどなあ
なぜか下に重い?
50kg位

子どもたち

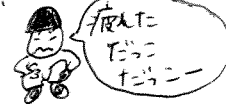
トキとタラは、私のしむをよそに、
 現地の子供たちとすぐに仲良くなった。
 最初に行ったウツグルレットのチランは
 日本語が話せるので、おぼろげに分かる(それでも
 育った環境は全然違うが)けど、次に
 行ったテレルジのリスン(歯もけ)は
 モンゴル語しか分からない。それでも、着いた
 その日に楽しいゲームをして、最後の日には
 トキとリスンなんか「バカ、バカ(チームの剣)
 と言い合って肩を組んで抱き合って離れよう
 としなかった。



タラはマイペースに
 草を抜いたり
 なんかしている
 だんごさん

ファミリーキャンプを買うために片道4km、帰りは
 全部歩いて行けるようになったり、おどい斜面の
 山を登ったりするようになったこともとても嬉しい
 ことだけど、言葉が通じなくても人と心を通わせ
 られることが分かった(と思う)ことが一番。母と
 しては嬉しいことだし、子どもたちにとっても
 これからの大きな支えになるのでは、と思う。
 でも、ほんとにタラはよく歩けるようになった。
 日本ではおど「バギー」抱っこ、おんぶ、だうたのか
 大人でもしんどい道のりを歩いている人だもの。

「子どもはほめて育てる。」
 その通りだと思う。タラも最初は
 全然歩かない



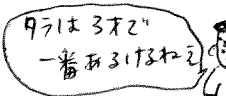
疲れた
 だうた
 だうた

と言っていたのだが、そして私も



何いってるの!
 歩きなさい!
 このロクデナシ!!

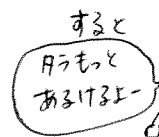
みたいにおこっていた。
 でも、ある日タラが疲れそうな
 ちよと前に、



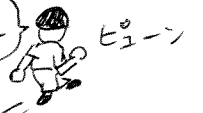
タラはオオで
 一番あるけねえ
 こんなオ
 みたことない



と言ってみた。



すると
 片もど
 あるけるよー



と走って行ってしまった。

それとか、トキと競争してあと、



トキは 90 km/h
 タラは 85 km/h
 出てたせ!

と創くんが言うと2人はかせん
 やる気になってずんずん走っ
 ていくようになった。

草食動物と
 肉食動物の
 ちがいについて

国と国の
 境目はどうな
 っているのか

世界一周した後は
 トキも名字とか変わるの?

旅行中毎日3食 4人で
 一緒に食べていた。1食2時間位
 かけて(子どもたちが食べるの遅かった)
 イライラすることもあったが貴重な時間。

この時間にトキタラの様々な質問に答えて

競争してんか?

外国には
 悪者多いの?

私たちが考えられる答え
 をなるべく分かるように説明した。
 こんな時間、日本ではなからたように思う。
 自分では思いつかないようなギモン、おもしろく勉強になる。

エンジンが止ま
 る車にとらなるの

ドボボさんは
 どうしてケ-サツに
 つかまるの?

子どもと関わる時間が長くなった分、怒ることも多くなった。
 トキとタラによく怒っていたのは、こはんに時間がかかりすぎること。
 ケンカが多いこと
 つまらないことで怒ること(特にトキ)

怒った後、「おこりすぎたな〜ごめんね」と昼寝している子供たちに向かって言い、
 創くんと何度も「もうちょっと優しくしよう」と反省したのだが、あまり変わらず。
 それでも根にもたえず明るく何でも同じことで怒られるトキとタラ
 ほどすると「何度言、たら分かるわん!」とまっおこりたくなる...

これから続く2年弱の家族世界一周の旅を覚悟するには、
 あまりに短く、楽しいことばかりの1カ月のモンゴル旅行でした。
 この先行く国々では、二人はにうまくはいかないだろう、トラウマ
 もあるだろうとあらかじめ思っていますが、何も走る前から
 競争の恐れとしてでも仕方ないので楽しもうと思っております。
 この4人で旅できるのだからま、大丈夫!